

財務省第10入札等監視委員会  
令和3年度第1回定例会議議事概要

開催日及び場所	令和3年10月12日(火) 広島合同庁舎1号館会議室	
委員	委員 内田 喜久 (内田法律事務所 弁護士) 委員 山口 力 (広島大学大学院人間社会科学研究科 教授) 委員 中川 隆喜 (アイル監査法人 公認会計士)	
審議対象期間	令和3年4月1日(木) ~ 令和3年6月30日(水)	
契約の概要説明	審議対象期間における契約案件の概要	
抽出事案	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : (R3)岡山市北区岩井宮裏所在国有地に係る擁壁設置工事に伴う家屋調査業務 契約相手方 : 株式会社佐和測量コンサルタント (法人番号 7260001013506) 契約金額 : 1,529,000円 契約締結日 : 令和3年6月7日 担当部局 : 中国財務局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 鳥取第1地方合同庁舎総合管理業務 契約相手方 : 東亜建物管理株式会社 (法人番号 8270001003430) 契約金額 : 24,728,000円 契約締結日 : 令和3年4月1日 担当部局 : 中国財務局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 令和4年度小学生用及び令和3年度中学生用租税教育用副教材に関する契約 契約相手方 : 株式会社Taisei (法人番号 1240001005956) 契約金額 : 2,513,872円 契約締結日 : 令和3年4月16日 担当部局 : 広島国税局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 倉吉税務署ほか61箇所消防用設備保守点検業務 契約相手方 : 赤防株式会社 (法人番号 3240001042254) 契約金額 : 1,191,300円 契約締結日 : 令和3年4月26日 担当部局 : 広島国税局
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【抽出事案の説明及び審議】</b></p> <p><b>1 (R3)岡山市北区岩井宮裏所在国有地に係る擁壁設置工事に伴う家屋調査業務</b> 業務内容の説明について</p> <p>落札率が低い理由について</p>	<p>今年度予定している岡山市北区岩井宮裏に所在する国有崖地の擁壁設置工事による振動が、周辺家屋へ与える影響を把握するため、工事箇所周辺に所在する建物等の損傷箇所の調査を工事前と工事後に実施し、工事前に見つかった損傷箇所の変化や工事によって新たに発生した損傷について報告書を作成するもの。</p> <p>落札業者に確認したところ、同種の家屋調査について20年以上の業務実績があり、作業を効率的に実施することにより人件費の圧縮が可能である、また、本事案の入札が年度当初であり、技術者の手も空いているため、利益を圧縮してでも業務を受注したかったとの回答を得ている。</p>
<p><b>2 鳥取第1地方合同庁舎総合管理業務</b> 業務内容の説明について</p> <p>一者応札の理由について</p>	<p>鳥取第1地方合同庁舎における①常駐保守要員による電気・機械設備等の日常保守点検や定期点検、空調関連機器の運転操作、庁舎内の衛生環境確保、施設保全に係る総合的な調整その他各種付帯業務を行う「ビル総合管理保守業務」、②空調自動制御装置などの管理点検、性能・機能の維持を行う「空調ほか自動制御装置保守業務」、③消防法等関連法令に基づき消防設備の定期点検及び機能保持を行う「消防用設備等点検保守業務」、④エレベーターのフルメンテナンスを行う「エレベーター保守業務」を一括で委託し、総合管理業務として契約しているもの。</p> <p>本件のような総合的なビル管理業務を履行するためには、専門的な知識や資格、業務経験を有する人材の確保が現地で必要なこと、また、多岐にわたる機械設備についてメーカーや専門業者の協力を得るための体制構築が必要なことなどから、一者応札となったもの。</p> <p>多くの業者に入札参加を促すなど、一者応札の改善に向けて取り組んでいきたい。</p>
<p><b>3 令和4年度小学生用及び令和3年度中学生用租税教育用副教材に関する契約</b> 業務内容の説明について</p> <p>業務の開始年及び他県での実施状況について</p>	<p>「令和4年度小学校社会科資料」及び「令和3年度中学校社会科資料（公民的分野）」の中国地方各県版の製版、印刷、製本、納品及びその他付随業務を行うもの。</p> <p>業務の開始年の確認はできなかったが、調べた範囲では平成20年において、既に当該調達を実施している。</p> <p>他県での実施状況は、広島国税局の管轄である中国地方5県で調達を行っており、他の国税局においても副教材の作成及び調達を実施している。</p>
<p><b>4 倉吉税務署ほか61箇所消防用設備保守点検業務</b> 応札者が多い理由について</p> <p>落札率が低い理由について</p> <p>業務の履行確認状況について</p>	<p>電子調達システムの利用拡大により、仕様書の取得や入札等の手続について、国税局に来ることなく自社で行うことができるようになったことが、入札参加者の増加に繋がった要因と考ええる。</p> <p>落札者は、過去に、本件業務を実施している経験があり、過去の経験から業務内容を的確に把握し、点検箇所の特定や段取り等についてノウハウを蓄積しており、保全従業員にも余力があることから、諸経費等のコスト低減が図れ、低い落札率に繋がったものと考えられる。</p> <p>本業務の設備点検は、各施設管理担当者の立会いの下に実施しており、加えて、当局に点検結果報告書を提出させ、点検内容及び点検結果の状況等を確認する履行確認も行っており、実施業務の監督及び検査の結果、これまでのところ点検業務は適切に履行されている。</p>